

中型GPSナビキャスト

公道走行対応灯火器等を標準装備

散布機

マップデータから可変施肥が可能となりました!!

ほ場の状況に応じた施肥マップを作成

リモートセンシングデータを利用したISO11783-10形式、または空撮画像とGISツール*から作成したKML形式
★KMLファイルが作成可能なGISツール(2020年9月時点、*印は有償)
Z-GIS*(JA全農)、ArcGIS Earth(ESRIジャパン)、など

↓ ↓ ↓
USBメモリから、ナビゲータ部へ入力
↓ ↓ ↓
マップ情報に沿って、可変施肥を行います



MGC453PN



MGC1203WN

2スピナータイプは、片側散布が可能

仕様

散布方式	型式	ホッパ容量 ^①	機体寸法 mm			重量 kg	性能			装着方式	PTO回転数 rpm	適応トラクター kW(PS)	
			全長	全幅	全高		作業速度 km/時	散布幅 m	毎時能力 a/時				散布量 kg/10a
スパウト	MGC453PN	450	1500	1650	900	200	4~10	粒状 7~12 砂状 5~7	粒状 170~720 砂状 120~420	粒状 5~180 砂状 10~620	直装I・II兼用 日農工OL	450~500	29.5~51.5 (40~70)
	MGC453PN-0L												205
	MGC603PN	600	1600	1900	970	210							51.5~88 (70~120)
	MGC603PN-0L												215
2スピナー	MGC603WN	600	1600	1900	970	245	粒状 14,18,22 砂状 8,10	粒状 340~1300 砂状 190~600	粒状 5~180 砂状 10~550	直装I・II兼用 日農工OL	500~540	33~59 (45~80)	
	MGC603WN-0L											250	51.5~88 (70~120)
	MGC1203WN	1200	1650	1950	1250	260						51.5~88 (70~120)	

※散布幅は肥料の性状により変わります。 ※本品は仕様・形状・色等を変更することがあります。
※全高寸法及び重量はスタンドを含んでいません。
◆農耕トラクタとのマッチングに限り公道走行に対応しています。
◆公道走行に関する詳細は日本農業機械工業会の公道走行ガイドブックをご確認ください。

末尾型式	日農工標準オートヒッチの種類		
0L	0点オートヒッチ	Lタイプ	オートヒッチ(Lタイプ)・ジョイントは装備されていません。他の作業機の4点オートヒッチ(Lタイプ)・3点オートヒッチ(Lタイプ)で装着します。

オプション製品・部品

*印の部品は土壌改良剤や融雪剤(砂状)等の摩耗の著しい肥料散布時にご使用下さい。
※アジテータASYは粉状農業用融雪剤アッシュ系の散布用です。

- 部品番号1604030000;ヘンカンコード.....各型式共通 日農工、DIN7クピンコネクタ変換コード
 - 部品番号1602690000;耐摩耗シャッタ(スパウト).....スパウトタイプ用 融雪剤等散布用*
 - 部品番号1602630000;2SP耐摩耗ブレード.....2スピナータイプ用 融雪剤等散布用(1台分)*
 - 部品番号1602641000;耐摩耗プロテクタASY(2スピナー).....2スピナータイプ用 融雪剤散布用*
 - 部品番号1602621000;アジテータASY(2スピナー).....2スピナータイプ用 融雪剤等散布アジテータ
- ※融雪剤として用いられる土壌改良剤は、通常の肥料より比重が大きい場合があります。その場合は積載量を抑えて下さい。

部品番号 1488550000:肥料流動測定器

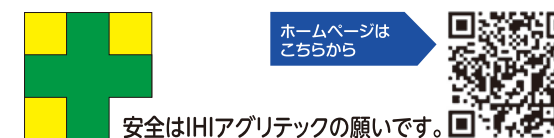
散布作業に入る前に肥料の流動性(肥料流動測定値)を計測することが必要です。肥料20kgを2回に分けて肥料流動測定器に投入し、肥料流動測定値を算出します。これはGPSナビキャストの高精度施肥の基となります。



安全についてのご注意

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前後には、十分に点検・整備をおこなってください。

商品についてのご相談・ご意見は下記へご連絡ください。



安全はIHIアグリテックの願いです。

株式会社IHIアグリテック

千歳本社
〒066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2
TEL 0123(26)1123 FAX 0123(26)2412

ホームページアドレス <https://www.ihico.jp/iat/>

*このカタログの写真・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
2022.10作成 SU2A019A028

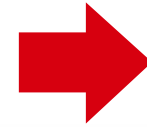
ICTが導く新世代の肥料散布機

👍 可変施肥とは…

肥料を散布する時、生育が良い所は少なく、生育が悪く肥料が必要な所は多くする技術のこと。作物が必要とする量を散布することで、肥料代の節約・生育の均一化といったメリットがあります。

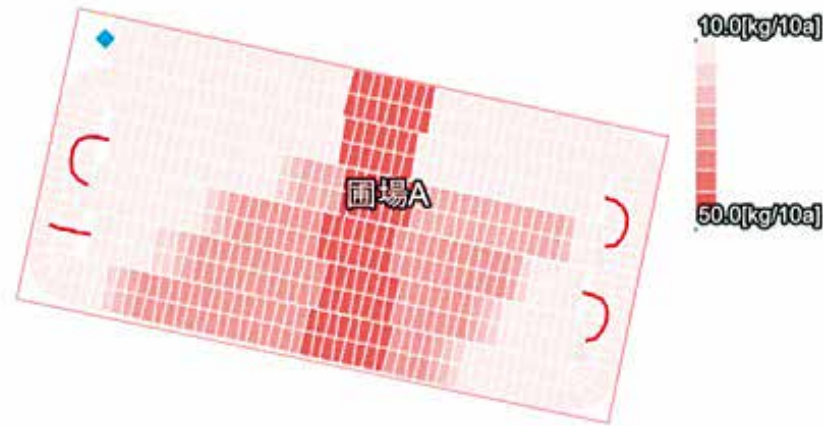
今までの施肥は…

ほ場一筆単位でしか散布量を決めることができなかったため、生育のばらつきに合わせた施肥ができませんでした。



可変施肥では…

ほ場の生育のばらつきに合わせた施肥ができるので、生育の均一化と肥料削減ができます。

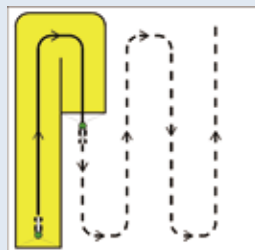


👍 GPS車速連動+経路誘導で散布を制御

「経路誘導ガイドパターン」は2パターン

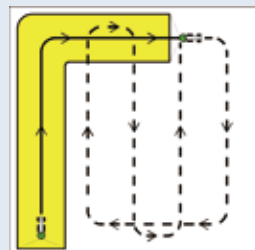
隣接散布パターン

設定した誘導幅へガイドします。



外周&自動均等割散布パターン

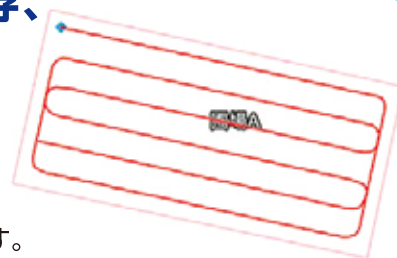
一本目の走行ラインを記憶して、外周散布後に内行程を自動均等割し目標ラインへ誘導します。外周へ差掛かったときやバック走行時は、シャッターが自動で閉まります。



◎肥料がなくなって作業を中断する場合、中断した位置を記憶、再びそこまでの誘導を行う「ブレークリターンシステム」を設けています。

🌀 作業記録をUSBメモリに自動保存、作業確認や作業日誌に活用

- ・作業履歴と走行軌跡がUSBメモリに自動保存されます。
- ・作業履歴は1日の作業内容を確認できます。
- ・走行軌跡の形式はKMLとCSVから選べます。
- ・KML形式の走行軌跡はマップソフトを使って確認できます。



ホッパ容量



散布方式

スパウトタイプ (型式末尾:PN)

独自の落下口により10a当り5kgからの少量精密散布が可能



(意匠登録第1424873号)

2スピナータイプ (型式末尾:WN)

最大22mのワイド散布



公道走行対応機材
標準装備
灯火器類や反射ラベル、
制限標識等を
標準装備しています。

📍 ほ場判別機能を利用してほ場間違いを防止

事前にほ場マップデータを作成することにより、進入したほ場の名称が画面に表示されるため、ほ場間違いを防止することができます。



ほ場に向かう際にはほ場マップデータに登録したほ場が左右にある場合は画面でお知らせします。

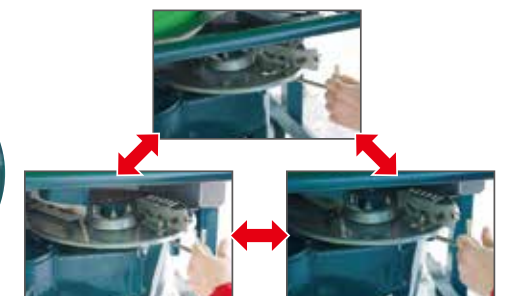


目的のほ場に入った時、画面にほ場の名称が表示され、画面左下のLEDランプが赤から緑に変化します。

👉 ワンタッチでブレード角度を調整し散布幅変更 (2スピナータイプ)

粒状肥料を最大22mにワイド散布できる2スピナータイプは、付属の工具を使ってワンタッチでブレード角度を調整し散布幅を変更可能です。畑作の場合、スプレーヤの薬液散布幅に合わせて肥料散布幅(粒状肥料のときは散布幅14・18・22m)を選ぶことができ、追肥作業時に走行路を共有できます。

付属の工具



👍 ホッパダンプ機構でメンテナンスが簡単

一人で軽々とホッパを持ち上げてダンプ状態にすることができ、清掃時、点検時等に無理な姿勢をとることがありません。